

2025.07.23 夏休み前の全校集会 校長

生徒の皆さん、1学期お疲れ様でした。

皆さんには私からお伝えしたいことを2つお話しします。

一つ目ですが、この夏休みには、「事故にあわない、事故にあうようなムチャをしない」を心がけること、また、体調はいつも、「無理しない、悪くしない、明日も元気だ」を心がけ、健康一番でこの夏休みを過ごしてください。

心身ともにリフレッシュし、休み明けには、学校生活をポジティブに送れるよう気持ちを整えほしいと思います。

二つ目ですが、この夏休み中に皆さんに「ちょっと思いを巡らせみてはいかがですか」という話です。皆さんには、今、このときに自分の中にある「みずみずしい感性を磨いてほしい」という問いかけです。

今はVUCAの時代と言われています。VUCAとは、変動性(Volatility)・不確実性(Uncertainty)・複雑性(Complexity)・曖昧性(Ambiguity)の頭文字をつないだ造語です。未来が予測しにくい状態・時代の中で、自分は将来「何を目指して頑張ろうとしていくのか」「どんな未来を夢見ようとしているのか」。それを考えるうえでの根本は、自分のもつ感性から発せられる思いなのではないかと思えます。そう言いながらもそれを考えるというのは結構大変かもしれません。

Maybe 夢見れば	Maybe 人生は	Maybe つらい思いが多くなるけれど
Maybe 夢見ずに	Maybe いられない	Maybe もしかしたら

中島みゆきさんの1991年に発売されたアルバム「歌でしか言えない」に収録されている「Maybe」という楽曲があります。「思い出なんか何ひとつ私を助けちゃくれないわ」とサビの前にあります。これまでの思い出や未来に思っていた夢・想いは、自分がこれからの未来に立ち向かって生きていく中では助けてはくれない。だけど、「Maybe～」サビでは「そんなことを言ったとしても、もしかしたら何か素敵なことが起こるかもしれない」と心のどこかでは思い・願いながら、「夢を見ることをあきらめないでほしい」というメッセージを私はこの楽曲から感じました。

生きていく中では、「選択があり考えて動いてみて、そして選択があり考えて動いてみて、そこには自分自身への責任があり」の繰り返しなのだと思います。その選択と行動の先に、自分の未来への想いや夢があり、その想いや夢をよりきれいに見えるようにするうえで、今の時分の「みずみずしい感性」を大事に見つけてほしいと皆さんに願っています。

それでは、夏休み明け、皆さん、元気にお会いしましょう。

令和7年（2025年）7月23日  
市立札幌清田高等学校  
校長 三 関 直 樹